

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 岐阜県農業フェスティバル開催費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111(内4064)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 26,039 千円 (前年度予算額：22,575 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,575	11,287	0	0	0	0	0	0	11,288
要求額	26,039	13,019	0	0	0	0	0	0	13,020
決定額	22,575	11,287	0	0	0	0	0	0	11,288

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県農業フェスティバル実行委員会が行う、第35回岐阜県農業フェスティバルの開催に伴う経費の一部負担を行う。

(2) 事業内容

【開催趣旨】岐阜県の農業のPR、県産農畜水産物や加工食品の消費拡大等を通じた本県農業の一層の活性化を目的として、県、市町村、農業関係団体、食品産業団体などとの連携により開催

【主催】岐阜県農業フェスティバル実行委員会

(構成団体：岐阜県、JA岐阜中央会ほか県農業関係団体等)

【開催時期】令和6年10月26日(土)、27日(日)

【開催場所】OKBぎふ清流アリーナ及びその周辺

【開催実績】来場者数 183,000人(R1)、販売額 54,360千円(R1)

※R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

※R3、R4は県庁舎建設工事に伴う安全確保及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県農業フェスティバルは、毎年18万人前後が来場する県下最大級の食と農のイベントである。県は実行委員会の構成員であり、本県農業のPR、地産地消の推進として、開催にかかる経費の負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	26,039	岐阜県農業フェスティバル実行委員会への負担金
合計	26,039	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

岐阜県農業フェスティバルは、毎年18万人前後が来場する県内最大級の食と農のイベントである。県は実行委員会の構成員であり、本県農業のPR、地産地消の推進として、継続的な開催支援が必要である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県農業の現状と将来方向を広く県民にPRするとともに、県産農畜水産物や加工品の消費拡大等を通して、本県農業の一層の活性化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S60)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①来場者数	0	(※) 180,000	190,000	210,000	200,000	—

(※) 直近開催7回中5回の来場者数数の平均値

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p> <p><参考>第33回岐阜県農業フェスティバル（令和元年度）</p> <p>【開催内容】</p> <p>開催時期：令和元年10月26日（土）、27日（日）</p> <p>開催会場：OKBぎふ清流アリーナ及びその周辺</p> <p>催事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひだみの特産品コーナー（県産農産物・農産加工品の販売） （県産農産物を使った料理） ・県産農産物や試験研修成果、JA等関係団体の紹介 ・畜産ひろば、水産PRコーナー（動物等とのふれあい） ・スマート農業、世界農業遺産マルシェ、ぎふ野菜ファーストほか
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>・ 約18万人の来場者があり、食と農に関する県内最大級のイベントとして定着しており開催を期待する声は多い。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>・ 多くの県民に県施策、県農業をPRする絶好の機会となっている。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>・ 実行委員会形式をとり、関係団体及び出展団体に費用負担が費用負担している。 ・ 発注に際しては競争入札、見積合わせを行うなど経費の削減が図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧庁舎の解体工事に伴う安全管理対策が必要 ・ 物価や人件費高騰に伴い会場設営、警備業務に係る経費が高くなっている。 ・ 近年の異常気象の影響を受け、保険料が高くなっている
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本フェスティバルの継続開催を望む声は多く、県民ニーズ、事業効果の点から継続すべきである。 ・ より多くの県民に県の施策や県農業を知っていただけるよう、会場の安全性の確保や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	